

金融経済教育推進機構の始動

2024年4月、金融経済教育推進機構（J-FLEC）が設立された。金融リテラシーの向上を図るプラットフォームとして、職域等生活に密着した幅広い世代へのアプローチを掲げる同機構の、今後が期待される。本稿では、金融経済教育推進機構 理事長 安藤 聡 氏に、金融経済教育推進機構（J-FLEC）の展望と金融機関との連携についてご寄稿いただいた。

お金の知識を
あなたの力に

J-FLEC



金融経済教育推進機構 理事長 安藤 聡

① 金融経済教育推進機構（J-FLEC）とは

本年4月5日に、金融経済教育推進機構が設立された。英語名称は「Japan Financial and Literacy Corporation」、愛称は「J-FLEC」（ジエイフレック）である。世代を問わず優しくポジティブな印象をもっていたただけるように、親しみやすいロゴマークを採用した。来月8月に本格稼働し、国民一人ひとりが、より自立的で安心かつ豊かな生活を実現できるよう、全国で広く「学びの場づくり」に取り組む。

J-FLECは、一人ひとりが描くファイナンシャル・ウェルビーイングを実現し、自立的で持続可能な生活を送ることのできる社会づくりに貢献する。そのために、金融

リテラシー（お金に関する知識・判断力）の向上を図るプラットフォームとして、時代の移り変わりや個人の多様性に即した金融経済教育を提供し、いまと未来の暮らしをより良くする金融サービスの活用や資産の形成と活用を支援していく。地域金融機関の皆様やその他関係者の方々とともに、官民一体となつて、国全体で広く、誰一人取り残さず、定期的に金融経済教育を受けられる機会を提供するべく、取り組んでいきたいと考えている。

J-FLECは、①講師派遣事業、②イベント・セミナー事業、③「J-FLECはじめのマネープラン」無料体験事業（個別相談の無料体験事業）、④「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業、⑤学校等への支援事業に取り組み。そして一定の中立性を有する

顧客の立場に立ったアドバイザーをJ-FLECが認定・公表する「J-FLEC認定アドバイザー制度」も創設する。

本稿では、①講師派遣事業と②イベント・セミナー事業、そしてJ-FLEC認定アドバイザー制度について、紹介する。また、国全体に広く、定期的に金融経済教育を受けられる機会をお届けするために、地域金融機関の皆様とどのような形で手を取り合うことができるかについて、我々の考え方を説明する。なお、J-FLECが実施する他の事業等は、後述③・またはJ-FLEC公式ウェブサイトをご覧いただきたい。

② 地域金融機関との連携

政府においても、「国民の安定的な資産形成の支援に関する基本的な方針」において、「令和10年度末を目標に「金

融経済教育を受けたと認識している人の割合』が米国並みの20%となることを目指す。」ことを目標として掲げているが、金融経済教育はJIFLEECのみが担うものでなく、日本全体で取り組むべき課題だと認識している。JIFLEECとしても、前述の取組みを進め、金融機関の皆様がこれまでリーチすることが難しかった先に対して「学びの場」をお届けすることで、この目標の達成に貢献していくが、これまで金融経済教育を行ってきた地域金融機関の皆様におかれても、引き続き全国各地で積極的に活動を充実させていただくことを期待している。このように官民が連携や役割分担をしながら、より多くの人が金融経済教育を受けられる環境を作ることが重要だと考えている。

地域金融機関とJIFLEECとの共催イベントの実施、地域金融機関が主催するイベント・セミナーへのJIFLEEC役職員の登壇等が想定される。もちろん中立公正性が担保されることが前提となるが、これらに限らず一緒にできる可能性があるものについてはぜひ積極的にお声がけいただきたいと思っている。

前述のとおり、地域金融機関にとって、職域教育を通じて取引先企業の企業価値向上は益々重要な課題となっているが、受講者のニーズによっては、個別の金融機関による教育が難しい場合もあり得る。そうした場合には、JIFLEECの事業概要をまとめたパンフレットを作成している中で、皆様が金融経済教育を十分に提供できていない取引先や教育現場等に対して配布いただくなど、全国的な教育機会の拡充に向けて、連携を

お願いしたいと考えている。JIFLEECは、個別商品についてのアドバイスをするのではなく、一人ひとりが、自立的で持続可能な生活を送るために必要な生活スキルとしての金融リテラシーを身に付けてもらうことを目標としている。そして、国民のより良い生活の実現を支援するという観点からは、JIFLEECも、地域金融機関の皆様も、同じ方向を向いていると考えている。地域金融機関の皆様におかれては、教育活動の一層の充実はもちろんのこと、より良い形での顧客本位の業務運営の追求や、専門的な知識に基づく顧客へのアドバイスの提供といった観点からも、この目標の達成に向け、お力添えをお願いしたいと考えている。

③ 金融経済教育推進機構(JIFLEEC)の事業概要

(1) 講師派遣事業

JIFLEECは、2024年8月から、全国の企業や学校等に一定の要件を満たしたJIFLEEC認定アドバイザー(JIFLEEC講師)を派遣し、無料で出張授業を行う講師派遣事業の受付を開始する。この講師派遣では、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシーを体系的に整理した「金融リテラシー・マップ」に沿った研修・授業を実施する。例えば、小学生向けの出張授業であれば、おこづかいの使い方や貯め方、お金の流れ、トラブルの事例等が主な学習内容として考えられる。また、就職前後の世代である大学生や若手社会人向けには、家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本、奨学金等についてお伝えするこ

とが考えられる。なお、この講師派遣で利用する年齢層別の標準講義資料については、JIFLEECの公式ウェブサイトで公開する予定である。

こうした中、学校への講師派遣はもとより、JIFLEECとしては、職域教育を強化したいと考えている。多忙な働き手にとって身近な場で学ぶ機会を得られるメリットは大きいと思われるほか、従業員の経済的な安定を支援する取組みは「ファイナンシャル・ウェルネス」と呼ばれ、従業員エンゲージメントの向上を通じて、企業価値向上に繋がると指摘されている。そのため、中小企業を含む幅広い企業経営者や人事・福利厚生担当者の中には、従業員の新規採用やリテンション強化、すなわち人的資本への投資の観点から、職域での金融経済教育の開始あるいは充実を検討するケースも増えてくるので

はないだろうか。JIFLEECは、ファイナンシャル・ウェルネスの実現に向け、講師派遣事業を通じて、こうした企業を支援していく。地域金融機関の皆様におかれても、取引先企業の企業価値向上の観点からも、職域における金融経済教育の推進に向けて、引き続きご尽力いただくようお願い申し上げます。

(2) イベント・セミナー事業 JIFLEECは、2024年8月以降、順次、全国各地で、社会人、事業会社（経営者）、教員等を対象としたお金に関する無料イベント・セミナーを開催していく。中立公正性が担保されること（個人の営業活動が行われない等）を前提としつつ、多くの方に興味を持っていただけるよう創意工夫を凝らしながら、経済界等の様々なステークホルダーとのタイアップや、金融機関と連携したイベント等

の開催も検討していく。
(3) JIFLEEC認定アドバイザー制度

お金に関する悩みについて気軽に相談し、継続的に良質なアドバイスを受けられる環境を整備するため、JIFLEECにおいて、一定の中立性を有し、顧客の立場に立っていると評価可能なアドバイザー（JIFLEEC認定アドバイザー）を認定・公表する。

JIFLEEC認定アドバイザーは、JIFLEECが定める要件に合致し、所定の審査を通過した個人のことを指す。JIFLEEC認定アドバイザーの認定に当たっては、①金融商品の組成・販売等を行う金融機関等に所属していないか、②金融商品の組成・販売会社から顧客に対するアドバイスの信頼性・公正性に影響を及ぼし得ると考えられる報酬を得ていないか等の要件を設ける予定である。なお、①

の要件については、金融機関等に現在所属しているかを問うものであり、過去に金融機関等で勤務経験があり、既にこれらの金融機関等を退職されている方については、①の要件を満たすことになると考えている。

金融機関等への所属や金融機関からの報酬の受領に関する要件に加え、アドバイスの提供に有益な資格及び一定の業務経験を有すること等もJIFLEEC認定アドバイザーの認定要件の一つとする予定である。なお、金融機関における個人に対する金融商品の提案や販売に関する経験は、この「一定の業務経験」の一つとして考慮する。

JIFLEEC認定アドバイザーについては、JIFLEECのウェブサイトにおいて、その氏名や利用者がアドバイスを依頼する際に参考となる情報（保有資格、経歴、得意

分野等)を公表する。これにより、一定の中立性を有し、顧客の立場に立っていると評価可能なアドバイザーの「見える化」を進め、個人が信頼できるアドバイザーにアクセスしやすい環境の整備を図る。

JIFLEC認定アドバイザーは、JIFLECの事業の一環として、JIFLECの講師や相談員を務め、国民の皆様にお金に関する知識を幅広くお届けしていく。

そして、JIFLECの事業外においても、JIFLECC認定アドバイザーの称号の下で個別相談等を営むことが可能であり、JIFLECは、こうした個別相談を多くの方に利用いただくため、JIFLECC認定アドバイザーが自らの生業として提供しているサービスを利用する個人に対して相談料の一部を補助する仕組み(「JIFLECはじめてのマネープラン」割引ク

ーポン配布事業)を実施する。日本には、健康診断のように、お金に関する相談を身近な場で定期的に受ける習慣が根付いていないと思う。これらの取組みを通じて、ホップ(一対多の講師派遣で一般的な知識を習得)・ステップ(JIFLECの無料個別相談で個人の状況に応じたアドバイスを体験する)・ジャンプ(JIFLEC外の個別相談でより詳細なアドバイスを受けられる)の3段階で、国民の皆様がお金について継続的に安心して良質な相談を受けられるよう、支援していきたい。

④ 金融リテラシーの向上による豊かな生活

私たちは生きていくために、日々お金を使っている。しかしながら、今後の長い人生において「いつ、いくらお金が必要か」「そのために、いくら貯める必要があるか」「必

要なお金を貯めるために、最適なお金の管理・運用方法は何か」について真剣に向き合ったことがある方は、あまり多くないのではないかと感じている。

現代は、金融・経済に関する情報に溢れ、また金融に関する様々な手法を簡単に試せる時代である。国民一人ひとりがより豊かな暮らしを送るために、このような状況をうまく活用することが重要である。そのために、「お金の知識」を身に付け、また時代や状況に応じてこれをアップデートしていただくことが求められる。「お金の知識をあなたの力に」。これが、JIFLECCのキャッチフレーズである。

金融リテラシーの向上とは、単に知識を習得するにとどまらず、その知識を適切な判断や行動に結びつけられるようになることを意味する。

JIFLECCは、国民の立

場に立って、お金に関する様々なことの学びをお手伝いする。金融・経済を取り巻く環境がめまぐるしく変化化する中、JIFLECも学びの歩みを止めず、国民や金融機関の皆様と一緒に成長していく。

JIFLECの活動については、JIFLECの公式ウェブサイトやSNSの公式アカウントでお知らせする。ぜひJIFLECのウェブサイトやSNSアカウントをチェックしてほしい。日本国民の金融リテラシーの向上に向け、皆さんと一緒できる機会を心より楽しみにしている。



(参考) X公式アカウント



(参考) J-FLEC公式ウェブサイト